

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮中央高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	通信制の課程、単位制による通信制の課程、単位制による定時制の課程の3つの課程を擁する本県唯一の公立の通信制・定時制の独立校として、学校の使命を踏まえた目指す学校像が設定されている。時代の変化と共に生徒の実態や学校の置かれた環境が変化していることなどを踏まえ、学校関係者などの意見を活用して新たな課題の解決に向けた方向を示す学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、各課程で中期的な視点から重点目標が設定されている。開かれた学校づくりの視点を含めた目標となるよう表現の工夫をするとともに、学校として3つの課程で共通して目指す部分と、各課程の独自性を盛り込む部分を明確に分けるなど、学校としての特色が分かりやすくなるような工夫をすると更に良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌シートが作成され、企画委員会で目標連鎖のチェックをするなど、重点目標達成のための組織体制の整備が進められている。学校自己評価システムの運営を通じて、教職員全体に積極的な参画を働きかけ、新たな改善の取組を生み出す仕組みを整備することが望まれる。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	次年度への課題と改善策や学校関係者評価を踏まえて方策や評価指標を見直している。方策の評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点を加え、進捗管理と評価項目の達成状況を正確に測れるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長がそれぞれの課程の強みを生かした学校経営方針を提示し、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が課程の枠を超えて学校全体の現状と課題について共通理解を深め、改善マインドを醸成させ、新しい動きを組織的に作り出す機運が高まることを期待したい。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートの実施方法を工夫して生徒の意見を引き出し、学校自己評価のための情報を収集している。アンケート結果や学校関係者の意見等をより詳細に分析するとともに、他校との学び合いなどを通じ、外部のより多方面からの意見を集める工夫を推進することで、学校改善・改革につなげていただきたい。	
特記事項			